

## 謝辞

冬の寒さも和らぎ、春の日差しに、満開の桜が待ち遠しい季節となりました。このような良き日に卒業できることを嬉しく思います。全体での式典は中止となりましたが、旅立ちの節目となるこの場をお借りし、卒業生を代表しましてお礼を述べさせていただきます。

振り返れば大学生生活の4年間は瞬く間に月日が過ぎていきました。私達は山口東京理科大学が公立化した年の第一期生であり、希望と抱負を抱いて臨んだ入学式がつい昨日のように蘇ってまいります。そこから始まった大学生生活、授業やバイトや部活で忙しかった日常生活も思い返せば懐かしく感じられます。新たな門出を迎えた今日、それぞれの道への期待と、少しばかりの不安を胸に感じています。熱心にご指導くださった先生方、共に切磋琢磨し苦楽をともにした友人、課外活動や行事を共に取り組んだ先輩や後輩、様々な人達から得た経験は計り知れず、感謝の気持ちで溢れています。

大学1年生の共通教育では、習熟度別に振り分けられたクラスで4年間の基礎となる学問を仲間たちと切磋琢磨しながら学んだことを思い出します。テスト期間には夜遅くまで大学に残り、勉学に励みました。2年生以降の専門課程では、一人一人に個性豊かな先生からそれぞれの専門分野の内容を学び、工学部生としての基礎と応用を教えていただきました。私たちの生活を支える工学について得た知識や経験の数々は、今後の人生における貴重な財産になると思います。4年生の卒業研究では、先生から出される課題や難解な研究テーマに頭を悩ませました。しかしそれは、課題解決能力を身に着け、社会に出てから自主的に活躍できる人材として育つために必要な先生からの試練だったのだと思います。時に厳しく、時にやさしく、忙しい時も私達のことを気に掛け、第一に考えてくださった先生方への感謝は、言葉では言い表せません。また、協力し合いながら研究に没頭してきた研究室のメンバーとの別れは本当に名残惜しく思います。

公立化し山陽小野田市立山口東京理科大学として新たなスタートを切ったその第一期生として、そして新しい令和という時代の初めての卒業生として、周りからの期待がいつも以上に感じられます。今後私達はそれぞれの道を歩んでいきますが、これからの道のりにおいて、数々の壁にぶつかるでしょう。しかし、先生方からご教授して頂いた専門的知識や問題解決能力に加え、卒業後それぞれの道で蓄えていく知識と技術、経験を以て突破していき、今後の日本を支えていく人材、そして地域のキーパーソンとなれるよう精進していきます。

最後になりましたが、多岐に渡りご指導くださった学長をはじめ諸先生方、私達が大学で学ぶにあたり心地よい環境を提供し続けてくださった職員の方々、食堂、売店、守衛、清掃の皆様方に御礼を申し上げます。また、皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますとともに、山陽小野田市立山口東京理科大学のさらなる発展を祈念して、卒業生ならびに修了生一同を代表致しましての謝辞とさせていただきます。

令和二年三月十八日  
卒業生代表 工学部 電気工学科  
宮垣津 将一